

令和8年3月9日

保護者の皆様

新潟市立小針中学校
校長 軽部 直幸

令和7年度 学校評価アンケート等について報告

目指す学校像「喜びをつくる学校」の実現、教育目標をわかりやすく解釈した「おもしろく、やさしく、つよい生徒」を育成するため、各教育活動を行ってきました。保護者の方々からも学校評価に関するアンケートに回答していただき、感謝申し上げます。一年を総括した取組を振り返り、アンケートの回答結果を参考にしながら次年度の教育活動に生かしていきたいと思えます。各種学校評価の結果や割合は、小針中学校ホームページをご覧ください。

<職員評価結果>

前期と後期で各1回、3つの重点項目を中心に16の評価項目について4段階で評価しました。当初計画した目標に対しての方策や手立てを講じて教育活動を行ってきましたが、3つの重点項目のいずれも【B】評価となりました。結果や割合は別紙をご覧ください。

<生徒用生活アンケート結果>

生徒用の学校評価について、前期は校内で作成した生活・授業アンケートを、後期は新潟市の生活学習意識調査と関連させて行いました。特に後期は新潟市の平均より高いか低いかでも集計され、小針中学校の傾向がわかる調査でした。「人との関わり」、「相談できる人がいる」、「めあてをもつての生活」など市平均より高いものの、「ややあてはまる」がほとんどで、自信をもって「あてはまる」の回答がとても低い傾向がありました。また、「将来の夢、つきたい職業がある」の項目が他項目と比べて低いいため、総合的な学習の時間の柱であるキャリア教育の推進を一層進めていきます。

<後期保護者用学校評価アンケート結果>

前期の結果と後期の結果を比較して、大きく変化したことはありませんでした。学校からの情報発信の項目で肯定的な回答が多く、来年度も各種たより、学年だより、配信メール、ホームページを中心に丁寧に学校の様子を伝えていこうと思えます。また、保護者の方々から学校に望む項目で特に高かった「仲間・集団との関わり合い」のスキルの向上に努めていきます。さらに、生徒の生活アンケートで「朝食をバランスよく食べる」、「家での手伝い」の項目が市平均より低い傾向を鑑み、学校と家庭が連携して働きかけ、生徒の生活指導全般の支援をしていきます。

上記の結果から次年度は、教育目標を解釈した「おもしろく、やさしく、つよい生徒」の育成を継続し、各教科の授業や学級活動、生徒会活動等で育成し、特に学習意欲と学力の向上や集団との協調性を高めることに注力していきます。

次年度も5月と11月に学年別の授業参観、7月と12月に保護者面談を予定しています。そして主担任を中心として複数の担任が関わって対応するグループ担任制のメリットを生かして、生徒の活躍の姿を丁寧に伝えられるよう努めていきます。

最後に、今年度の小針中学校の教育活動にご理解とご協力いただき、大変ありがとうございました。

【学校評価担当】

教務主任 吉野 雅典

☎ 025-267-1851